

神奈川県立横須賀高校「スーパーサイエンスハイスクール」への協力

京急グループでは、沿線地域貢献の教育支援として、神奈川県立横須賀高校のスーパーサイエンスハイスクール (SSH)Principia I のプログラムに協力をしています。これは、高等学校における先進的な理数教育を実施や大学・企業との共同研究、国際性を育むための取組を推進するために文部科学省の認定を受けた高等学校にて実施するプログラムであり、2018年度より1年生を対象に京急グループが研究機関としてテーマを設定し、課題研究の支援を行っています。

2021年度は当社が参画し、「京急サービスグループのESG経営における取り組みについて」のテーマで6グループ15名の生徒が参加し、課題研究を行い、下記に掲載したポスターを作成して2022年3月22日にポスターセッション（課題研究発表）を行いました。



人が快適に過ごせる建物づくり

～建物緑化と色の効果による魅力づくり～

「心にもやさしい建物づくりを」

ある研究によると、開発中のある商品のシルエットやパッケージを考慮する際、いくつかの候補イメージ図を示した上で不特定多数の人にアンケートをとったところ、丸みを帯びた形状の方が好印象を与えることが分かった。

このことから私たちは色、光も加えたこれら三つの要素と一般的に心を癒すとされる植物との関連性をカギに、建物づくりをより良いものにできるのではないかと考えた。

事業を通して、より人にも環境にもやさしい建物づくりとその管理を目指したい

仮説
緑のある空間での明るい色(正装の色)や光、やわらかな形状は、人にとって心地よく感じられる。

研究方法
・建物についていきなり関連付けるのは難しいので、まずは人が植物(主に緑)に好むの色の色についてアンケートをとる
・上記の実験の例に倣い、形状・色(正装の色)・光と緑化の組み合わせによる効果についてアンケートで検証する
・緑化を実際に行っている建物や企業について具体的にその例を調べる

グラフ
心が落ち着く色は？
I like it!
植物が植えられている植木鉢に合う色は？

<アンケート結果と考察>
「心が落ち着く色は？」という質問に対し、緑が圧倒的多数を占め、次いで青となった。それに対し、植木鉢の色を例として提示し、「植物に合う」という条件を加えた質問では、オレンジが5分の1を占め、次いで白、黄色という結果になった。したがって、主に緑色に加える色では、明るみや彩度を加えたオレンジ、黄色のような色が安心感を与え人を受け入れる効果が高い事が分かった。
※加えて、警備員の服装に加えた方が好ましい色では色相や色味が反対な赤と青が同数であった。また、季節を持つイメージに合った色についてのアンケートの結果では、その季節の植物との強い相関関係があった。これらの事から多くの色が挙がった警備員の服装については、印象について回答にまとまりのあった季節の色を植物の移り変わりと共に取り入れることが良いと考えられる結果となった。

～人々の葬祭へ求めるものと環境改善～

葬祭を変えよう！

要旨
私たちの目的は葬祭を知ってもらい使いやすくするため、また葬祭で発生する環境問題を見つけたためである。葬祭で求められているのは金額面ではないかという仮説と、火葬時のCO2が地球温暖化の原因の一つではないかという2つの仮説を立て、実験を行った結果、葬祭に求められていることはサポートや従業員の対応で、また環境面ではCO2などのガスは温暖化の原因となっているが、棺の素材を変えるなどガスを減らす工夫がとられていた。

仮説① 葬祭で求められているのは金額面ではないか	仮説② 火葬時のCO2が地球温暖化の原因の一つではないか
実験方法 1. 生徒、先生にアンケートをとる 2. アンケートをもとに、求められているものを発見する	実験方法 1.京急メモリアルの方に環境面について尋ねる 2.地球温暖化対策に関して実現可能な案を煮える

本質はこれら2つの問題を通して、葬祭について興味を持ってもらうことでした。

葬祭について求められていることは何ですか。

金額	61.0%
サポート	39.0%

結果
アンケートの結果人々が葬祭に求めるものは、費用のことよりもサポートや従業員の対応を求める声が多かった。また、今回のアンケートで半数以上が葬祭に熱心を持ってもらえたことから、このようなアンケートも関心を持つのに有効だと分かった。

提案
①料金やサポートのことを踏まえカスタムプランを作りそれらのお客様が求めるサービスだけを取り入れたプランコースを作る。
②火葬の時に発生する熱を建物の電気に活用したりその近隣の商業施設に提供して、その地域一帯で電気の使用量を減らす。
③イベントの内容で葬祭のことはもちろんだが地域の人々と交流できるような楽しいイベントなども取り入れて葬祭への良いイメージや怖いイメージを減らしてみる。

